

(10) 宇和島ブロック（宇和島市）

～産地づくり～

西日本豪雨災害からの復興と被災前よりパワーアップしたかんきつ産地を目指し、基幹品種（南柑20号等）と多彩な品種の組み合わせによる周年供給体制に加え、農地の集積や高品質生産技術の実証・普及、新品種の導入等を進めるとともに、農家の所得向上を目的に、水田を有効利用した「さといも（伊予美人）」の産地化や「ブラッドオレンジ」「媛小春」「つるむらさき」など、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

## ○魅力あふれるかんきつ産地づくり

1 うんしゅう「南柑20号」を中心に多彩な品種の組合せによる周年供給体制の維持

【取組】

- 【取組】
- ① 南予地域果樹産地協議会が、果樹経営支援等対策事業を活用し、周年供給を目指す地域にあった品種の導入を推進
  - ② 温州みかんの隔年結果の是正や摘果労力の軽減を目的に、摘果剤の利用を推進するとともに、「南柑20号」等の浮皮軽減技術を推進
  - ③ 肥料高騰対策、果実品質向上のため、土壌改良資材等の施用を推進

【成果】

- ① ・「南柑20号」約9,600本〔R5：11千本、R4：18千本〕  
 ・「ぽんかん」約6,700本〔R5：8.2千本、R4：11千本、R3：14.5千本〕  
 ・「甘平」約1,200本〔R5：2千本、R4：2.9千本、R3：6.1千本〕  
 ・「河内晩柑」約1,600本〔R5：2.7千本、R4：2.6千本、R3：3.3千本〕  
 の苗木を植栽

- ② 6年産は極端に着果量が少なく、収穫遅れで浮皮になる懸念が少なかったため、摘果剤の推進をせず。
- ③ 石灰資材を約5千袋（R6夏秋施用）、約8千袋（R7冬施用）投入

## 2 紅プリンセス等高収益性品種の導入促進

【取組】

- ① 再編復旧園地を中心に導入を推進  
② 「南予に適した「紅プリンセス」の高品質化栽培を実証  
・「愛媛果試第28号」のクラッキング低減実証

【成果】

- ① 「紅プリンセス」苗木の植栽実績：872本（R7年3月定植）  
 [R6.3：約1.7千本、R5.3：約2.1千本、R4.3：約10.4千本]
- ②
- ・ 着色期では着色遅い果実で、収穫期で小玉果で、す上がり果が多い傾向
  - ・ 笠掛＋ジベレリンの組み合わせで、28号のクラッキングは低減

### 3 優良園地の担い手への集積

【取組】

- ・平成30年豪雨被災園地の再編復旧2地区について担い手への集積を推進

【成果】

- ・立間地区：受益面積7.4haの集積についての地区打合せ：6回
- ・玉津地区：受益面積5.4haの集積についての地区打合せ：6回

#### 4 マルドリ・根域制限栽培等、高品質・省力栽培技術の実証

【取組】

- ① 関係機関指導の下、玉津柑橘倶楽部において、根域制限栽培を実証中  
② 基盤整備園地や平坦地での品質向上を目的に、シールドイングマルチ  
(通称：Sマルチ)栽培を実証中〔生育・果実品質調査〕

【成果】

- ① 6年度に初成りを迎え、2,798kgを収穫  
② Sマルチは極端な不作のため、マルチ未敷設



宇和海を望むみかん山



## 柑橘苗木の植え付け



## 紅プリンセスの 高品質化栽培実証



玉津地区（白浦工区）  
完成イメージ



## 初収穫を迎えた根域制限栽培

## 5 園地復旧後の早期成園化に向けた技術の導入

### 【取組】

- ① 玉津柑橘倶楽部及び管内苗木業者（JAえひめ南委託）が取り組んでいる復旧園地を対象とした大苗育苗に対し、施肥・防除・かん水などを指導
- ② 昨年整備した掘削機を活用し、耕土が固い改良復旧園地の植栽作業の効率化を模索
- ③ 再編復旧園地での土壌改良実証（早期成園化実証）

### 【成果】

- ① 植栽数：（玉津柑橘クラブ）1,400本（R5：約1.9千本、R4：約1.6千本）（JA）750本（R5：約1千本、R4：約3千本）
- ② 原形及び改良復旧園地では、主に2年生苗が植栽され、6年度から32園地において収穫開始
- ③ 白浦工区で4種類の土壌改良資材を投入、土壌混和実施後の生育はいずれも順調で、バーク堆肥を導入決定

## 6 省力化・軽労働化の推進と収穫時の労働力確保など労働力補完体制を整備

### 【取組】

- ① 省力化のため、個人スプリンクラー、点滴かん水やモノレールの導入を推進
- ② 「JAえひめ南労働力確保対策プロジェクト」（事務局：JAえひめ南）を設置し、農業関係機関が連携した労働力確保対策を推進
- ③ 女性農業者やアルバイト等が果樹園で働きやすい労働環境の整備

### 【成果】

- ①
  - ・ 個人スプリンクラー：9園地（28,048㎡）
  - ・ 点滴かん水施設：1園地（2,225㎡）
  - ・ モノレール導入：17園地（9,724㎡）
- ②
  - ・ 有償ボランティア：217人（R5：222人、R4：305人、R3：419人）
  - ・ アルバイター：668人（R5：467人、R4：304人、R3：244人）
- ③ 補助事業により、R4年度までに簡易トイレを13か所設置（R5年度以降は要望なし）



初収穫を迎えた  
原形復旧園



個人スプリンクラー設置園

## ○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

### 1 県オリジナルブランド米「ひめの凜」の産地化

#### 【取組】

- ① 穂肥・中干し栽培講習会の開催。個別巡回による病虫害防除指導
- ② 高品質多収生産に有効な省力中間施肥技術の実証ほを設置

#### 【成果】

- ①
  - ・ 戸数、栽培面積：14戸、10.7ha  
（R5：14戸・8.8ha、R4：14戸・7.7ha、R3：13戸・8.1ha）
  - ・ 穂肥及び中干し講習会（5、6、7月の3回）を実施
- ② 高温による登熟不良等の影響で、省力中間追肥実証区及び慣行区において、検査等級は2級（スタンダードクオリティ）

### 2 「さといも（伊予美人）」の省力生産体系等による産地化及び優良種芋供給基地の育成

#### 【取組】

- ① JA等関係機関と連携し、講習会や現場巡回を実施
- ② 親芋副芽を活用した優良種芋の増殖に係る作業研修及び現地実証
- ③ 脱マイクロプラスチックに向けた元肥一発肥料の検討

#### 【成果】

- ①
  - ・ 作付面積：7.8ha（R5：10.3ha、R4：11.6ha）
  - ・ 生産振興協議会を開催し、地域における課題を共有し、今後の種芋生産の方向性等について協議（1月）
  - ・ 7年度の作付けに向け、栽培指針を見直し、各地区で栽培講習会を実施（2月、延べ18戸）
- ② セル苗を用いた優良種芋生産の実証圃を1か所設置した結果、収量は極めて少ないが、無病苗育成には有効
- ③ 有機入り元肥一発肥料の実証圃を2か所設置したが、肥効が短く収量が低い結果



「ひめの凜」現地講習会



各地区で栽培講習会



## ○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

### 3 生産量全国No.1の「ブラッドオレンジ」の産地化推進

#### 【取組】

- ・栽培技術向上による高品質栽培及び産地のブランド化を推進

#### 【成果】

- ・生産者：411戸、栽培面積：33.8ha、生産量：232t
- ・品種では、タロッコに比べモロの面積が増加

### 4 媛小春の認知度向上と安定生産技術の確立

#### 【取組】

- ① 情報共有と相互研鑽を目的とした「南予の媛小春魅力アップ協議会」を設立し、現地研修会等を開催
- ② 安定生産に向けた着果枝の性質調査及び果実品質保持技術等を検討
- ③ 認知度向上を目的とした販促イベント等を実施

#### 【成果】

- ① 夏季及び秋季現地研修会（のべ77人参加）を開催し、調査結果の報告及び優良園の栽培状況について、意見交換を実施
- ②
  - ・結実が多い樹の結果母枝の特徴を確認
  - ・12月上旬収穫の果実を1月末まで貯蔵した結果、試験区で果重の減少に差はなく、カラリング後に貯蔵した区で果皮色が良い傾向
- ③
  - ・えひめ愛ある食の市（松山市）、宇和島市産業まつりで一般消費者向けに試食販売を実施
  - ・加工品開発に向けて県内加工事業者と協議開始、現在試作中

### 5 (株)源吉兆庵と連携した加工用果実（かき、びわ）の作付拡大と安定出荷に向けた取組推進

#### 【取組】

- ① 高級菓子用くだもの産地確立事業（局予算）等を活用し、JAの新たな特産品（びわ、かき）の生産拡大を推進
- ②
  - ・(株)源吉兆庵を含めた協議会で、新規生産者確保や生産供給目標の見直しなどを検討
  - ・生産量確保のため集団・個別指導を実施

#### 【成果】

- ①
  - ・かき栽培低樹高化に向けた省力化データ等の収集
  - ・びわ生産量：2.1t（R5：2.6t、R4：2.8t、R3：3.1t）
  - ・かき生産量：4.2t（R5：10.3t、R4：8.3t、R3：7.1t）
- ②
  - ・ファクトリーブランド協議会を開催し、取り組みから10年を迎えた現時点の栽培実態にあった目標生産量の変更及び生産性向上に向けた省力化技術の導入について協議
  - ・新規栽培者の巡回、技術指導、広報誌等を活用した生産者の掘り起こしを実施

### 6 地域特産野菜「つるむらさき」の産地振興支援

#### 【取組】

- ① つるむらさきの認知度向上に向けて、各種イベントを開催
- ② 土壌病害の多発に対応するため、土壌消毒技術を検討
- ③ 農家所得向上を目的とし、未利用茎葉の活用を検討

#### 【成果】

- ①
  - ・「つるむらさきの日（7/26）」に合わせ、大手外食チェーンとコラボし、「つるむらさきカレー」を期間限定販売
  - ・「携帯用レシピ集」を作成し、県内外の販促活動に活用して、認知度向上に取り組み、販売単価の安定に努めた
  - ・生産量：35t（生産者19人）
- ② 薬剤による土壌消毒の有効性を確認し、次年度の栽培指針に明記
- ③ 収穫時に廃棄される未利用茎葉を集出荷する仕組みを試行し、県内食品会社と連携して加工品（パスタソース）を開発



ブラッドオレンジ



媛小春



夏季現地研修会で  
意見交換



柿作業省力化調査



つるむらさき



レシピ集で販促活動

## ○地域の特色を活かした産地づくりによる経営の安定

### 7 新規需要米等の栽培・利用促進による耕畜連携の推進

#### 【取組】

- ・水田の有効利用と自給飼料の生産拡大のため、地域飼料増産行動会議の開催や、耕畜連携による新規需要米等の作付と栽培技術向上を推進

#### 【成果】

- ・米粉用米作付面積：3.0ha〔R5：3.2ha〕
- ・飼料用米：12.9ha〔R5：13.6ha、R4：13.6ha、R3：12.7ha〕
- ・WCS用稲：1.3ha〔R5：1.0ha〕



WCS用稲の収穫作業

## ～地域づくり～

農家の高齢化が進み、担い手不足が深刻化する中、集落営農組織の設立や意欲のある経営体の規模拡大を図るほか、農業団体による営農活動や進出企業による生産活動、女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど多様な担い手が活躍できる地域づくりを進めます。また、家族経営協定の推進により家族ぐるみで経営に参画し、夢を実現できるようメリハリのある経営や労務管理の取組を推進します。地域の鳥獣被害対策や荒廃農地対策も進め、安心して農業に取り組める地域づくりに努めます。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○農地を守る担い手の経営安定

#### 1 集落営農組織の設立と法人経営の安定

##### 【取組】

- ① 三間町是能の（農）これよしで、経営安定のため、さといもや新規需要米の導入及び米販路開拓を支援
- ② 三間町音地地区で、農事組合法人の設立に向け活動支援

##### 【成果】

- ①
  - ・さといもの栽培面積：0.45ha〔R5,4：1ha〕
  - ・分離機を利用し、分離作業を省力化：作業時間6割削減
  - ・飼料用米、WCS（ともに2ha）を導入し、地元の畜産農家に供給
- ② 令和7年の法人化に向けて、準備作業中

#### 2 新規就農希望者の技術習得支援のための研修機能創設

##### 【取組】

- ・JAえひめ南・野菜栽培講座を開設

##### 【成果】

- ・受講生4名が受講
- ・野菜の栽培管理、農業機械の操作・修繕、鳥獣害対策等を研修圃場にて、実技も交えて研修

#### 3 農家自ら立ち上げた法人組織等による営農活動の支援

##### 【取組】

- ① かんきつ大苗育苗の技術指導
- ② 根域制限栽培園地の管理指導

##### 【成果】

- ① 大苗育苗の施肥・防除・かん水等について指導し、2年成ポット苗1,400本を育苗
- ② 点滴チューブ増設、摘果・枝誘引、マルチシートの敷設指導により2,798kgを初収穫



さといも収穫作業



野菜講座 開校式



点滴チューブ交換



## ○農地を守る担い手の経営安定

### 4 機械共同利用や共同防除組織の機能維持

#### 【取組】

- ・機械の共同利用に取り組む14団体に対し、肥料価格高騰対策の情報提供や集落組織間の広域連携強化に向けた事例調査、農作業安全を指導

#### 【成果】

- ・草刈機の共同利用を目的に、ラジコン草刈機や歩行式草刈機の比較実証を実施（7月）

### 5 「攻め・守り・地域体制づくり」による鳥獣被害軽減活動

#### 【取組】

- ・県・市事業による防止対策施設の整備や個別指導、講習会の開催、見回り活動等による「攻め・守り・地域体制づくり」を軸とした鳥獣被害軽減活動を推進

#### 【成果】

- ・鳥獣害防止施設整備事業：2,470m（県事業）  
〔R5：736m、R4：2,274m、R3：1,738m〕
- ・単独有害獣被害防護柵設置事業：4,174m（市事業）  
〔R5：2,215m、R4：3,459m、R3：5,820m〕
- ・集落見回り活動にて、ワイヤーメッシュ柵の点検（薬師谷地区）
- ・農作物被害額：108,795千円（R5年比：177.5%）

### 6 荒廃農地“予備軍”の早期発見と対策の推進

#### 【取組】

- ・農業委員、協力員、市等で、管内全域の農地利用状況を調査

#### 【成果】

- ・関係者約100人で、問題となる農用地が無いか巡回（7～8月）
- ・遊休農地面積は、19ha前後で推移



ラジコン草刈機実証



鳥獣被害確認



農地利用状況調査

## ○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

### 1 就農希望者に対する就農相談や情報提供

#### 【取組】

- ・市役所や支所に相談窓口を設置し、就農希望者への個別相談を実施し、営農計画作成支援や各種補助事業の活用などを促進

#### 【成果】

- ・就農相談：36件〔R5：30件、R4：20件、R3：51件〕
- ・新規就農：6人

### 2 新規参入者に対する支援体制作り「相談～体験～研修～就農」

#### 【取組】

- ・行政、JA、農家が一丸となり、新規参入者の受入れ体制を整備

#### 【成果】

- ・新規参入者等の農業研修受入れ機関として、JAえひめ南がみかん学校を設置（研修生：5人）
- ・研修受入れ農家：4件（新規）
- ・新規参入者が、5戸の農家で体験及びマッチング：1件
- ・農地・機械等の情報を共有し、リスト化及びマッチング：3件

### 3 新規就農者や就農初期青年への生産技術・経営のスキルアップの場の提供

#### 【取組】

- ① 新規就農者を対象にした定期的な巡回指導の実施
- ② 経営管理や技術力向上のためのニューファーマー講座等の開催
- ③ 経営改善や規模拡大といった経営発展を目指す農業者を対象に、研修会を開催（2回）

#### 【成果】

- ① 就農サポートチーム（県、市、JA、農業委員会）で個別巡回し、営農状況の確認、栽培指導等を実施（計45人）
- ② 省力化技術や鳥獣害対策等の知識・技術講習を行う講座を4回開催するとともに、意見交換会を実施し交流の場を提供
- ③ 簡易園内道の設置や縮間伐の実習を通じ、作業の効率化を実現



新規参入者の体験支援



みかん学校での研修



ニューファーマー講座で簡易園内道設置研修

## ○新規就農者の育成と多様な担い手の定着

### 4 女性農業者によるネットワーク活動を支援

#### 【取組】

- ・女性農業者ネットワークづくり、資質向上に向け研修会等を開催

#### 【成果】

- ・女性農業委員、女性認定農業者、女性農業指導士、一次産業女子さくらひめ会員、南予地域女性リーダー等による先進事例合同視察研修（55人）  
《内容：一次産業女子による観光農園経営と6次産業化事例》
- ・一次産業女子さくらひめ会員の新規加入（5人）及びグループ化（1グループ新規発足）

### 5 農家による6次産業化やグリーン・ツーリズム等の取組支援

#### 【取組】

- ・各種研修会等により、農産加工や6次産業化、グリーン・ツーリズム等を支援

#### 【成果】

- ・農産加工研修《品目：郷土料理、こんにゃく》
- ・民泊実践者交流研修における郷土料理実習《品目：鯛めし》



先進事例合同視察研修



郷土料理の加工活動支援

## ～産地づくりと地域づくりを基盤整備で支えます～

### 1 水田地帯における農地中間管理機構と連携した圃場整備の実施

#### 【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業：2地区

#### 【成果】

- ・是能地区：受益面積19.4ha（受益戸数 68戸）
- ・黒川地区：受益面積 7.0ha（受益戸数 19戸）

### 2 既存かんがい施設の老朽化対策と災害に強く生産性の高い樹園地整備の実施

#### 【取組】

- ・玉津地区・宇和島地区・吉田地区・岩松地区・岩松第2地区・高の平地区・立間地区で実施中

#### 【成果】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業：1地区（玉津地区）
- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業：3地区  
（宇和島地区、吉田地区、岩松地区）
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業：1地区（岩松第2地区）
- ・畑地帯総合整備事業（担い手育成対策）：2地区  
（高の平地区、立間地区）

### 3 ため池の改修及び耐震補強工事

#### 【取組】

- ・ため池改修及び耐震補強工事を実施中

#### 【成果】

- ・中山間地域総合整備事業：1地区（宇和島地区）
- ・農村地域防災減災事業：2地区（中山地区、二名地区）

### 4 優良農地の荒廃の防止等、地域ぐるみの保全管理の共同活動への支援

#### 【取組】

- ・日本型直接支払制度の活用による、地域ぐるみで取り組む保全管理のための共同活動の実施

#### 【成果】

- ・多面的機能支払：46組織（1,569ha）
- ・中山間地域等直接支払：85協定（1,806ha）



圃場整備（黒川地区）状況



再編復旧工事中



かんがい施設更新状況



ため池改修工事中



共同活動状況